

### 第37回鍛造実務講座

## 「考えよう明日のための鍛造技術」

日時：平成22年2月23日（火）・24日（水）

会場：国際能力開発支援センター（<http://www.ovta.or.jp/access.html>）千葉市美浜区

JR京葉線 海浜幕張駅北口より徒歩8分

主催：社団法人日本塑性加工学会 鍛造分科会

趣旨：技術は常に時代の要請を受け入れて進歩しますが、現在、自動車のハイブリッド化や電氣化などが進行し鍛造をとりまく環境は急速に変化しています。環境の現状を認識すると共に今後どのように展開するかを予測して、固有技術に磨きをかけることは大切です。自動車産業への鍛造品の利用、鍛造設備の開発動向、新しい金型設計の考え方など、活躍中の企業人らを講師に迎え、状況分析及び自社技術の開発状況などを紹介して頂き、意見交換をする機会を設けました。ぜひご参加下さいませようお願い申し上げます。

第一日目：2月23日（火）

挨拶 鍛造分科会主査

石川 孝司君

午前の部（10:00～12:00）司会 小豆島 明君

午後の部（13:00～17:20）司会 戸田 正弘君

時 間	内 容	講 師
10:00～10:40	鍛造のロードマップと注目技術：2009年経済産業省作成の素材材技術戦略の中の鍛造技術のロードマップについて説明するとともに、サーボプレス鍛造、新金型材料など最近の技術革新を展望する。	大阪大学名誉教授 小坂田宏造君
10:40～11:20	自動車における塑性加工部品の動向：ハイブリッド車、電氣自動車、燃料電池車などの、自動車開発の動向、これに伴う電装系部品の拡大及びその塑性加工の適用について述べる。	本田技研工業(株) 畑上 恭徳君
11:20～12:00	事例にみる電機産業の現実と展望：代表的事例、デバイスのマイクロ化・高付加価値化や短納期・低価格対応の金型作りなど、電機産業の現状を紹介し、マザー工業化などこれからのものづくりを展望する。	パナソニック 電工(株)名誉顧問 中村 良光君
12:00～13:00	昼 食	
13:00～13:40	エネルギー産業を支える大型鍛鋼品：発電所や化学プラントなどのエネルギー産業分野では100t以上の超大型鍛鋼品が用いられ、絶対的な高品質が求められている。これに対応する製造プロセスを述べる。	(株)日本製鋼所 小野 信市君
13:40～14:20	鍛圧機械の将来展望：「素材材技術戦略2008」や業界団体の取組みから鍛圧機械の技術動向を探る。	アイダエンジニアリング(株) 中野 隆志君
14:20～15:00	冷間金型用新PVDコーティングの開発：冷間金型用鋼の焼戻し温度以下で処理可能なPVD法を用いて、従来のTiC皮膜以上の皮膜硬さ、摩擦特性、密着性を有する皮膜を開発した結果などについて述べる。	日立ツール(株) 井上 謙一君
15:00～15:20	休 憩	
15:20～16:00	これまでの超硬素材を超えた新素材／超寿命金型：硬さと靱性に優れた工具用新素材の開発及び冷間鍛造金型への応用について述べる。	(株)片桐製作所 片桐 鉄哉君
16:00～16:40	ドリット及び厚板からの精密鍛造品の紹介：厚板（6t以上）、パーツフォーマスラグからの冷鍛成形及び精密打抜き品を紹介する。	(株)豊島製作所 榑 敏雄君
16:40～17:20	アルミニウム鍛造技術について：アルミニウム鍛造品はその特性を生かして多くの分野で用いられている。代表的な事例を通してアルミニウム冷間鍛造品について紹介する。	宮本工業(株) 蘇武 剛雄君
17:30～19:00	懇親会	

第二日目：2月24日（水）

午前の部（9:30～10:50）司会 小野 博史君

午後の部（11:00～12:00）司会 篠崎吉太郎君

時 間	内 容	講 師
9:30～10:10	CAEを活用した鍛造金型設計技術の現状と将来：CAEと設計ノウハウとを有効に活用した改善事例並びに金型寿命予測に向けた取り組みなど、金型設計技術の現状及び今後の動向を述べる。	(株)ヤマナカコーキン 金 秀英君
10:10～10:50	鍛造テンプレートの試作：高強度材料や難加工材料などの鍛造では、圧力計算、鍛造品の温度計算、金型応力解析などは重要になる。鍛造の設計を支援するために製作したテンプレートについて述べる。	産業技術総合研究所 篠崎吉太郎君
10:50～11:00	休憩	
11:00～12:00	コンサルテーション・総合討論：本講座のテーマに係わらず技術相談があればご提案下さい。また、鍛造課題について意見交換をします。	全員
12:00～13:00	昼 食	
13:00～14:00	バスにて(株)ヤマナカコーキンへ移動	
14:00～14:30	(株)ヤマナカコーキン会社説明	(株)ヤマナカコーキン
14:30～16:00	工場見学	山中 雅仁君
16:00～16:30頃	バスにてJR佐倉駅へ移動・解散	

1) 定員：80名（定員になり次第締切り）

参加費	講座参加費	懇親会費
鍛造分科会員	18,000円	3,000円
塑性加工学会員	21,000円	3,000円
一般	24,000円	3,000円

(注)講座参加費にはテキスト代を含みます。学生は半額です。1月30日(必着)までお申込みください。テキストのみご希望の方は、講座終了後残席があれば販売いたします。

3) 申込方法：「37回実務講座申込」と題記し、(1)氏名 (2)会員資格 (3)勤務先(名称・部課名) (4)連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号)、(5)懇親会参加の有無を明記し、メールまたはFAXにてお申込み下さい。4)メールアドレス:natsuki.oguma@gmail.com事務局 またはTel&Fax:0493-62-1295へ。受付け後、参加券及び請求書を郵送しますので指定の口座に参加費を振り込んでください。

4) 同業者の工場見学はご遠慮願うことがあります。

参考：会場へ道順

JR京葉線海浜幕張駅より、徒歩8分（約700m）

JR総武線幕張駅より海岸方向へ、徒歩15分（約1,500m）

